

各位

上場会社名 株式会社 スーパー大栄  
 代表者 代表取締役社長 中山 勝彦  
 (コード番号 9819)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部経理部長 阪本 博美  
 (TEL 093-602-2770)

## 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,000	90	70	△70	△10.04
今回発表予想(B)	28,779	158	123	△331	△47.49
増減額(B-A)	△220	68	53	△261	
増減率(%)	△0.8	76.2	76.1	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	29,839	319	274	139	19.99

修正の理由

小売業界におきましては、個人所得の伸び悩みや消費者の生活防衛意識の高揚で顧客の低価格志向は一段と強まり、地域によっては、採算を無視した異常な低価格でシェアアップを狙うスーパーも出現する等、業界を取り巻く環境は年々厳しさを増してきております。  
 このような環境の下、当社はローコスト経営の基本路線を堅持し、採算重視の営業展開を推進するとともに、仕入コストの低減や販売費及び一般管理費の削減を図るなど収益体質の強化に努めてまいりました。しかしながら、地域内への競合店の新規出店や天候不順及び消費低迷の影響で売上高は前回発表予想を220百万円下回り28,779百万円となりました。なお、営業利益、経常利益につきましては収益体質の強化を図った結果、営業利益は前回発表予想を68百万円上回り158百万円に、経常利益は53百万円上回り123百万円となる見込みであります。  
 しかし、当期純損益につきましては、固定資産の減損損失が響き、前回発表予想を261百万円下回り331百万円の当期純損失となる見込みであります。

### ● 配当予想の修正について

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成21年11月11日発表)	—	0.00	—	5.00	5.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(平成21年3月期)実績	—	0.00	—	5.00	5.00

修正の理由

当期の期末配当につきましては、固定資産の減損損失による特別損失の計上などもあり、多額の当期純損失を計上する見込みとなりましたので、誠に申し訳なく存じますが見送りとさせていただきます。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により上記予想数値とは異なる結果となる場合があります。

以上